



みやまえ Miyamae

滑川町立宮前小学校 学校だより

12月号 令和 元年12月 2日

電話 0493-56-2204 FAX 0493-56-2065

勉強法・・・入力より出力が大切

グループ	学習方法（暗記方法）	復習方法（確認テスト方法）	全問正解までの時間	1週間後の再テスト結果
1	40個全てを学習する	40個全てをテストする	全て同じ	80点
2	間違えた単語のみを学習する	40個全てをテストする		80点
3	40個全てを学習する	間違えた単語のみをテストする		35点
4	間違えた単語のみを学習する	間違えた単語のみをテストする		35点

この表は、米パデュー大学のカーピック博士がおこなった実験の結果です。

カーピック博士は、ワシントン大学の学生を集め、なじみのないスワヒリ語の単語40語を学習して、覚えたかどうかテストするという単純な実験をおこないました。ただし、4グループにわけて、それぞれ違うやり方をしました。

第一グループはテストをして、一つでも間違いがあれば、また40単語全部を学習し、40単語全部についてテストをします。それを全問正解するまで続けます。いちばん「まじめ」なグループといえます。

第二グループは、間違いがあれば、間違った単語だけ学習し、40単語全部についてテストをします。

第三グループは、間違いがあれば、40単語全部を学習し、間違った単語についてだけテストをします。

第四グループは、間違いがあれば、間違った単語だけ学習し、間違った単語についてだけテストをします。これがいちばん「手抜き」なグループですね。

全問正解に至るまでの時間はこの4グループに差はありませんでした。まじめにやっても、手を抜いてやっても、どの勉強法をしても、結果は同じでした。

ところが、それから1週間後にもう一度テストをしたら、劇的な差がつかしました。「まじめ」な第1グループの正解率は80%。「手抜き」の第4グループの正解率は35%。これはとてもわかりやすい結果ですね。

問題は、第二グループと第三グループはどういう結果になったかです。第二グループと第三グループはやったことがよく似ています。勉強に割いた時間も変わりません。にもかかわらず、大きな差がつかしました。

結果は、第二グループの正解率は80%（「まじめ」グループと同率）。第三グループの正解率は35%（「手抜き」グループと同率）。

「学習」は脳への入力です。「テスト」は脳からの出力です。つまり、脳の機能の発揮には「出力」が大切だということです。平たく言えば、「いくら詰め込んでも無意味」であり、「使ったもの勝ち」ということです。

これは、自転車に乗るのといっしょです。自転車に乗れるようになるためには、「乗り方」をいくら聞いても無意味ですね。それより乗ってみる。転んでは乗り、転んでは乗りしてみる。そのうちに自転車の乗り方についての理解がすりむいた膝の傷の数と一緒に深まっていき、いつの間にか「コツ」をつかんで乗れるようになったはずですね。

「覚えたら使ってみる」「使わなければ本当に身についたことにならない」ということでしょうか。

「入力よりも出力を重視」脳はそうデザインされているらしいですね。



児童・保護者の活動、地域の皆様の活動



なかよし遠足



1年生 むかしのあそび



3年生 とうふ作り



ひまわり いもほり



1年生 いもほり



授業研究会 国語 野村教諭



授業研究会 国語 中島教諭



授業研究会 国語 田中教諭

11月12月の主な行事予定 ※変更が生じる場合があります

12月 4日(水) 6年生 平和資料館 ピースキャラバン
7日(土) 滑川町駅伝
11日(水) 芸術鑑賞会(武蔵越生高校太鼓部)
12日(木) 5時間授業
13日(金) 月曜授業 5時間授業
18日(水) ふれあい弁当
19日(木) 5時間授業
20日(金) 給食最終日 5時間授業
23日(月) 特別日課 3時間授業
24日(火) 2学期終業式

1月 8日(水) 始業式 短縮3時間
9日(木) 5時間授業
身体測定(123年生) 給食開始
10日(金) 身体測定(456年生)
餅つき大会 滑川中学校入学説明会
13日(祝) 成人の日
15日(水) 4年生社会科見学 ふれあい弁当
16日(木) 読み聞かせ
20日(月) 月曜6時間
21日(火) PTA常任委員会
23日(木) 校内書きぞめ展(24日まで)
24日(金) 6年生社会科見学
28日(火) 6年生租税教室
30日(木) 避難訓練